

環境経営レポート

オーブス株式会社

2023 年度

(対象期間 2023 年5月1日～ 2024 年4月30日)



OrBS

作成日： 2024年5月30日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

除菌・消臭、お掃除もできる!!

オーブスユーカリプタススプレー ユーカリ効果でハウスケア

Eucalyptus Spray

MIZUDEMITAS



美肌の近道は / 乾燥の原因は“水”不足だから、水を補うケアが大事!!

OrBS

使い方 と 続ける コト

[STEP1]

たっぷり 補水

1回8プッシュを目安に顔全体にスプレーしハンドプレスで肌へ優しく水分補給。

×
3回繰り返す

夢水肌スキンスーパースプレー

[STEP2]

水分 チェック

乾燥が気になる時は、更にたっぷり重ね付け。※目安は肌表面に雫が残るくらい

プラス!
8プッシュ
×
2～3回

夢水肌スキンスーパースプレー

[STEP3]

水を重ねて 保水

500円玉大を目安に手に取りハンドプレスで優しく馴染ませます。

ポイント!
乾燥が気になる人は、重ね付けがおすすめ!

夢水肌パーフェクトエッセンス

翌朝 チェック

もちっと吸いつく

感覚が分かれば使用量は充分「もの足りない」と感じたら、STEP1・STEP3の回数を増やしてみてください!

※初めてご使用する方は、最初の1週間で夢水肌スキンスーパースプレーを1本使い切るイメージでご使用ください。 ※人それぞれ乾燥の度合いが異なる為、使用量もそれぞれ異なります。
※アルコール・界面活性剤（乳化剤）・防腐剤フリーですが、すべての方に肌トラブル・アレルギーが起こらないわけではありません。

ごあいさつ

私は一級建築士であり木造建築にも携わっておりました。その折に、世界最古の木造建築の法隆寺が今も美しいのは、ヒノキの木肌のきめ細やかさによることに気づきました。

きめ細やかな水を含むものは、水が蒸発せず、潤いを保ち、朽ちることがないのです。木肌に含まれる水の異なりから「肌水密度」の水を開発しました。

そして、原水としての良質な水を求めて白馬村にたどり着きました。研究開発から30年以上環境にやさしく天然自然素材にこだわった、安心安全な製品の提供を続けてまいりました。

エコアクション21では、従業員一人一人の環境意識の向上により、資源問題から自然環境、気候変動までをふまえ、当社のロングセラー製品や新開発製品を介しての活動が出来ればと思っております。

環境経営方

環境経営理念

当社は、「水で考える美しいバランスと循環」の基本理念から自然界の「水」の特性を最大限に利用し、水としての不安定な「純水」を安定化させる独自の技術で体への潤い浸透力に優れた安心安全で環境にやさしい水製品及び開発応用製品を提供します。製造、開発、販売に於いても、環境に配慮した取り組みを行い、環境負荷の削減、改善のSDGs活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制及び、環境保全に対し、当社が約束したことを遵守します。
2. エネルギーや資源の使用を減らし二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生を極力抑え、リサイクルに努めます。
4. 効率性を高めた水利用に努め、水使用量の削減に努めます。
5. 洗浄、殺菌、製造工程において環境負荷を減らし適正管理に努めます。
6. 人にも環境にも配慮した、安心安全な製品を提供します。
7. お客様、お取引先販売店様に喜ばれる製品を通じ社会貢献に努めます。
8. 地域や関係先の環境活動・SDGsに積極的に参加し、環境改善に努めます。



制定日：2019年10月16日

オーブス株式会社
代表取締役 岸 清美

組織の概

更新日： 2024年5月30日

(1) 名称及び代表者名

オーブス株式会社
代表取締役 岸 清美

(2) 所在地

本社 長野県北安曇郡白馬村北城1695番地1
水科学研究所 長野県北安曇郡白馬村北城8295番地73
東京支店 東京都中央区日本橋三丁目13番6号 日本橋桜ビル5階 ～2022. 12. 25
東京都中央区日本橋兜町7番1号 KABUTO ONE 9階

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 製造 山田康芳 TEL：0261-72-8177
担当者 製造 鎌倉高子
製造 五十嵐康子
総務 横山恵美

(4) 事業内容

化粧品、生活ケア品、飲料水の製造・販売

(5) 事業の規模

売上高 25,132 万円

	本社	水科学研究所	東京支店	合計
従業員 名	11 名		2 名	13名
延べ床面積 m ²	316.23 m ²	722.76 m ²	60.34 m ²	1,099m ²

(6) 事業年度

5 月 1 日 ～ 4 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： オーブス株式会社
対象事業所： 本社
水科学研究所
東京支店

対象外： 無し
活動： 化粧品、生活ケア品、飲料水の製造・販売

□事業や製品(商品)の紹介

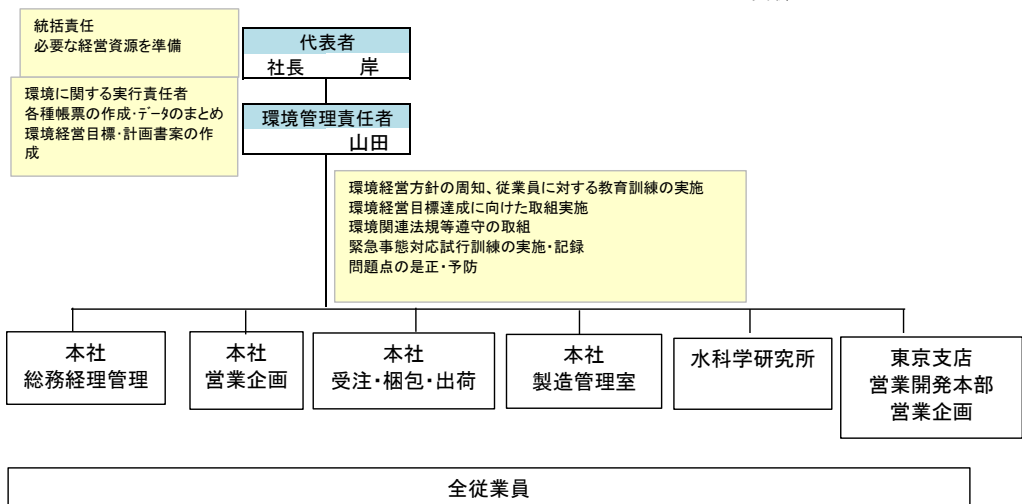
水のはたらきの異なりが、水中の微量元素の存在と、その水和現象によることを解明しました。自然界の「水」の特性利用による弊社独自の製法を確立し、純水が持つ極性を無極化させ安定させることに成功。開発した「オーブス高密度安定純水」の利用をもとに、自然界の植物・鉱物より水抽出された90数種類の微量元素・天然成分を調配合し、目的別に機能性を持つ製品を開発しています。

主な製品

- ・プリスティーンシリーズ（スキンケア・ボディケア製品）
- ・夢水肌シリーズ（スキンケア製品）
- ・ばぶぶシリーズ（スキンケア・ボディケア製品）
- ・プリスティーンプラスシリーズ（ヘアケア製品）
- ・オーブスニューカリブタスプロダクツ（除菌消臭生活ケア品）
- ・リバージュシリーズ（ペットケア製品）
- ・DC3、活力水、WBウォーターバランス、Medical Heart Ge-132super（添加タイプ飲料水）
- ・翠、FROM ATHLETES（ストレートタイプ飲料水）
- ・BASIC WATER（添加タイプ用飲料水）
- ・農業用地土壌改良剤
- ・VOC・ホルムアルデヒド対策剤

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：



主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	34,768	35,694	35,323
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	2,357	1,230	1,542
産業廃棄物排出量	kg	60	66	67
水使用量	m ³	275	360	270
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）			0.472	0.472 kg-CO ₂ /kWh

環境経営目標及びその実績

□環境経営目標及びその実績

本社・研究所・東京支店の合計を記入しています

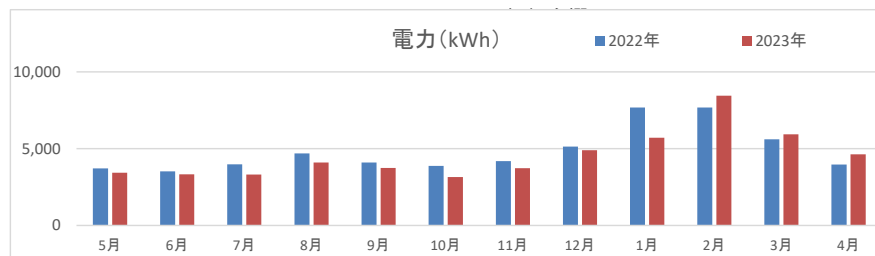
年度		2022 (基準年)	2023年 (目標)		評価	2024年 (目標)	2025年 (目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	26,932	26,663	25,689	○	26,394	26,124
	基準年度比	2022年	99%	95%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,554	4,509	4,395	○	4,463	4,418
	基準年度比	2022年	99%	97%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	529	524	485	○	519	513
	基準年度比	2022年	99%	92%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,679	3,642	4,753	×	3,605	3,568
	基準年度比	2022年	99%	129%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	35,694	35,337	35,323		34,980	34,623
一般廃棄物の削減	kg	1,230	1,217	1,542	×	1,205	1,193
	基準年度比	2022年	99%	125%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	66	65	67	×	64	64
	基準年度比	2022年	99%	102%		98%	97%
水道水の削減	m ³	360	356	270	○	353	349
	基準年度比	2022年	99%	75%		98%	97%
洗浄剤使用量削減	kg	12	12	12	×	12	12
	基準年度比	2022年	99%	100%		98%	97%
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	行動目標（次項による）						
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標（次項による）						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標:○達成 ×未達成

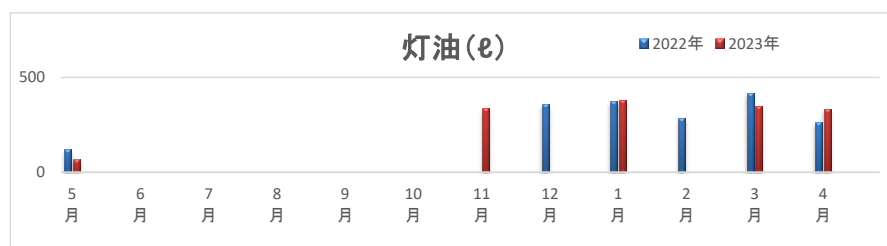
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】昨年より製造数も増え電気量の増加を想像したが、従業員の電力適正に対する意識が浸透している結果、全体として目標値内におさめられた。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	【次年度の取組】再度、空調機の適正使用など皆で再確認し、引き続き無駄をなくす意識を高めていく。
・不要照明の消灯	○	
・生産方法の改善による時間短縮	○	
・電化製品の点検・管理	○	



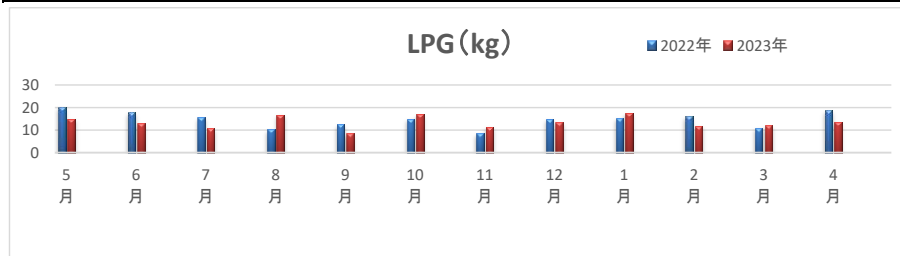
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	3,722	3,526	3,987	4,692	4,104	3,879	4,193	5,128	7,677	7,677	5,611	3,972
2023年	3,427	3,333	3,308	4,105	3,749	3,159	3,724	4,893	5,718	8,451	5,933	4,627

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】天井ファン使用を忘れる事なく使用できていた。結果、相対的に良い結果へとつながっている。
・暖房温度の適正化	○	【次年度の取組】温度計による温度管理の実施をもっと意識するよう、再確認をする。引き続き、無駄なく適正な温度調整を設定する。



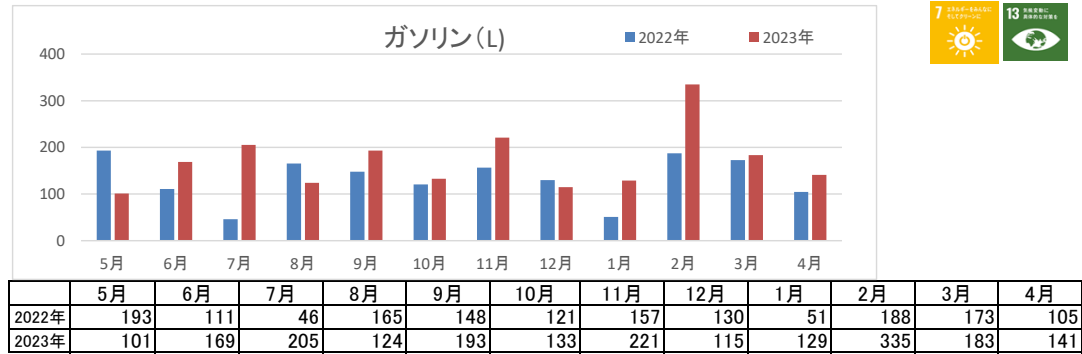
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	122	0	0	0	0	0	0	358	376	288	420	265
2023年	68	0	0	0	0	0	338	0	379	0	349	335

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】前年より受注数や新製品試作等も確実に増えている。製造回数も増えたことによりガス使用量も増えた。
・器具の適正使用	○	【次年度の取組】適正には使用できている為、引き続き無駄のない製造方法を継続。

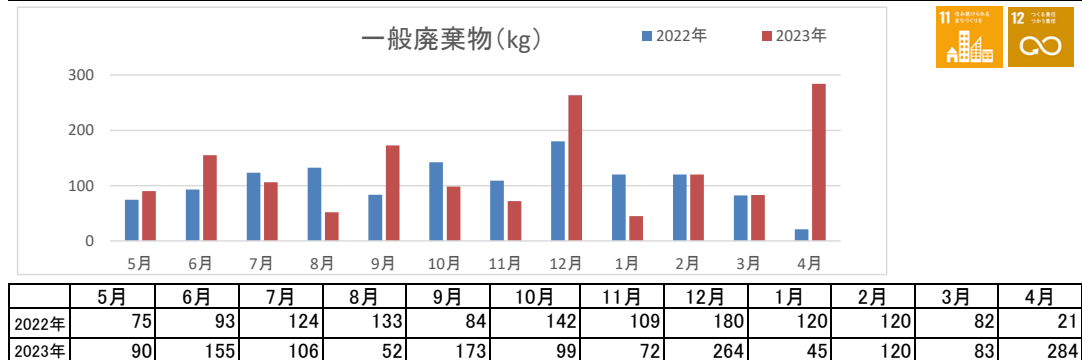


	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	20	18	16	10	12	15	8	15	15	16	11	19
2023年	15	13	11	17	9	17	12	13	18	12	12	14

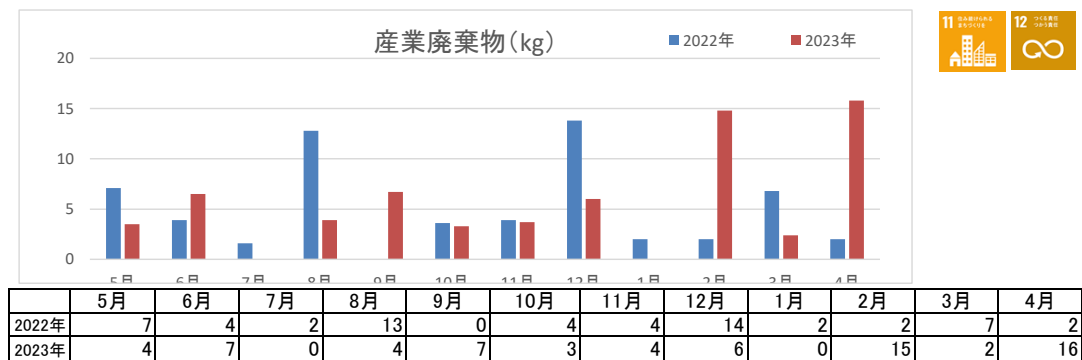
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】昨年同様、製造も増え研究所へ行く回数も増えている。使用量は増加しているが、無駄のない使用はできていると思う。 【次年度の取組】引き続き、エコ運転の推奨。省エネ、排ガス抑制を心掛ける。
・アイドリングストップ	○	
・営業、出張日程の見直し	○	
・整備、点検	○	



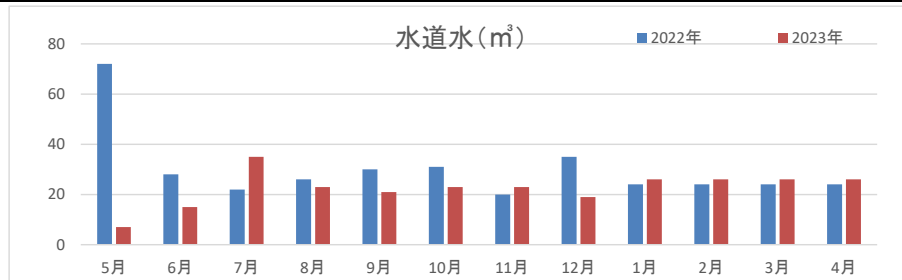
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】全体的に昨年より、廃棄物量が増えている。要因としては、本社にてキャンペーンなどの仕上げ作業を開始するなどが影響。ただ、無駄をなくす意識は高いと確認できる。 【次年度の取組】引き続き、ダンボール、各資材の再利用を実行していく。更に、無駄がないか意識を高め改善実行。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	



産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】キャンペーン等の製造が増えたが、概ね目標数値の前後となる。 【次年度の取組】今後も近年の受注環境を考慮しながら、リサイクルなども視野に入れた活動を検討する。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	○	
・受注～製造～販売・発送スケジュールの	△	



水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】昨年同様、研究所製品の受注増の為、使用量も増加した傾向。 【次年度の取組】引き続き無駄のない生産数を検討。製造以外での節水を出来るよう社内にて呼びかけ継続する。
・節水の呼びかけ	○	
・洗浄工程の見直し	○	



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	72	28	22	26	30	31	20	35	24	24	24	24
2023年	7	15	35	23	21	23	23	19	26	26	26	26

洗浄剤使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】毎年同様、月1回の水科学研究所ラインCIPによる次亜塩素水を必要量使用のみ使用。 【次年度の取組】引き続き、適正量の使用と管理を徹底する。
・適正な管理	○	
・最低必要使用量の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	

取組紹介欄



環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・持続可能な原材料の採用	○	【評価】詰替え用バックなどバイオマスプラスチックを使用した容器を採用検討中。 【次年度の取組】引き続き、環境に配慮した製品、資材を検討提案する。
・ロングセラー製品の開発・販売	○	
・分解・分別しやすい製品の提供	○	
・製品・情報の公開	○	

取組紹介欄



課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	△	【評価】引き続き昨年同様、営業訪問できなかったお取引先を重点的に訪問。少しずつ売上につながっている。 【次年度の取組】引き続き商品開発アドバイザーと共に、時代に合ったヒット商品を生み出す。
・講習会の開催による製品説明	○	
・OEM製品の受注・製造	○	
・農業分野の製品開発	○	

取組紹介欄



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等名称	該当する設備・項目
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
浄化槽法	浄化槽の使用
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の設置
労働安全衛生法	SDSの管理
消防法（危険物）	危険物の保管

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

2023年5月1日～2024年4月30日までの間、環境上の苦情はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024年 4月16日（火）	■実施場所 オーブス株式会社
■参加者： 9名	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 ・1階より出火を想定とした避難訓練。 ・通報・初期消火・避難の順に行動することを基本とする。状況によっては優先順位が異なってくるので、逃げ遅れのないように冷静な判断が出来るよう心掛ける。 ・指揮系統や役割分担（情報収集、関係機関への通報、連絡、搬出救助等）協力体制について理解を深める。	
■評価： 手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし ・訓練開始と共に各自、身の回りの安全確認を行い、避難場所まで2分42秒で避難完了。昨年同様、避難時間3分を切る事が出来た。 ・手順書通り、第一発見は大きな声で火災発生を皆に伝えられていた。一階、二階とのスペースは広くないので、内線による火災連絡よりも、声掛けで皆に伝えれることを確認しました。 ・電話対応中の避難方法であった場合は、相手へ現状を伝え速やかに避難するよう確認しました。 ・避難場所は本社入り口前。中履きのまま速やかに避難する事ができた。※昨年は、外履きに履き替えての避難訓練だった為、本年は履き替えずに避難実施。 ・消火器の設置場所を再確認し、使用方法も確認しました。 ○火災発生時の対応として、火災対応手順書を皆で読み合わせを行いました。 ・消火器の配置場所の再確認が必要。 ・消火器の点検、有効期限の確認を確実に行う。 ・非常口通路となる箇所へ、荷物が置いてある場合があるが、なるべく避難時の邪魔とならないよう日頃から意識する事も必要と、確認しました。 ・火災対応手順書通りに、避難が出来るよう年一回の避難訓練では忘れてしまうので半年に一回は、手順書の確認を行ってはどうか意見もありましたので、朝のミーティング時に確認する事を検討します。	
■実施状況の様子 	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年5月30日

環境活動の取組結果としての目標は概ね達成できており、十分な活動内容となった。特に電力による二酸化炭素削減、灯油による二酸化炭素削減の項目は、大幅に削減できた。しかし、一般廃棄物の削減項目については、多くの受注、生産、製品仕上げに伴って、社内廃棄物が増加したと考えられる。削減に向けて具体的な策を検討するように指示した。

この活動を通して、現在、社員一人一人がエコに関する取り組みを率先して行う姿勢が、見られるようになってきた。このエコアクション21が社員の心に通じてきたことを大変嬉しく思い、今後の取り組みに大いに期待をよせております。

まだ、始まって間もないこの活動ではありますが、地球環境へ優しい会社組織へとつなげていくために、常に、各取り組みを継続して参ることが重要であると考えております。

この精神が、社員一人一人に芽生えたこと、そしてこれからも、この活動を育んで行こうとする気持ちを継続して行けるよう、常に意識をして参りたく思います。

なお、環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、環境経営システムについては、現時点での変更は行わないこととしました。

環境経営方針

☒ 変更なし

☐ 変更あり

環境経営目標・計画

☒ 変更なし

☐ 変更あり 実績を踏まえて見直すこと

実施体制他

☒ 変更なし

☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

創業以来、環境に配慮した安心安全な製品を製造販売してきました。製品作りそのものが環境活動であると自負しております。

今期も昨年に引き続き、農業分野においても安心安全な農産物作りを目標とし、岩手県遠野市にて苗用として試験を行い、効果を検証した。又、稲作作りへの応用も開始し、農業分野への進出を目指します。

製品製造には、原料以外に各種資材が必要です。製造数が毎年増えている為、引続き資材を廃棄物としないために、製造ミスを防ぎ無理無駄のないよう、5S活動も強化していきたい。

SDGS活動については、2023.6.14-春日井市中部中学校 70名 2023.8.3-中部大学中部第一高校 23名を迎え、SDGS活動につながる講義・ディスカッションを行い有意義な交流を行った。引続きこういった活動も継続したい。



□編集後記

エコアクション21活動をはじめ4年となりますが、実際の就業時間のなかで業務を行いながら、どのように活動を行えば良いのかまだまだ日々悩む毎日です。まず簡単に始められる当たり前の事、こまめに電気を消す、節水を行う、廃棄物の分別などは、ほぼ全従業員に浸透してきており、従業員一人一人がエコアクション活動と意識して行動ができています、実感している。ここから更にエコアクション活動を継続しながら、レベルアップを図りたい。昨年同様、エコアクション活動は社会から評価・信頼を得るための大事な要素であるため、作成する手間を惜しまず、企業発展の為、引続き取り組んでいきたい。更には、環境を意識した事業を行いながら、経費削減や生産性の向上など、経営面でもメリットが出るような取り組みが出来るよう、創意工夫を行っていきたい。